

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月 9日 更新

事務事業名	歯周疾患検診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 安武 祐次
体系	施策	15	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名 稲崎奈々子
	基本事業	44	病気の早期発見		所属班	健康推進班	(内線) 2134
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 4	事業連番 10368	法令根拠 健康増進法	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の歯科医院で歯科検診を受けることにより、むし歯や歯周疾患を予防する事業</li> <li>歯科保健連絡会議で歯科医より歯周疾患検診を実施していく必要性を指摘され、旧合志町の頃より実施。その後、国の老人保健事業メニュー(現在は、健康増進法に基づく)の中に歯周疾患検診ができたため、旧合志町・西合志町で実施していた。</li> <li>①市内歯科医院と委託契約(H20年度:16医療機関、H21年度:14医療機関、H22年度~H23年度:15医療機関、H24年度~17医療機関)</li> <li>②料金:自己負担なし(3500円全額市負担)</li> <li>③対象者:H24.4.1現在で35・40・50・60・65歳の市民</li> <li>④実施期間:6月1日~12月末日</li> <li>⑤検診内容:歯科検診、歯肉の検査、ブラッシング指導等</li> <li>⑥受診方法:対象者自身が直接医療機関へ予約し受診。受診の際は通知葉書を持参。</li> </ul>
【業務の流れ】	①市内歯科医院との契約、必要書類を渡す。②5月頃、対象者への受診票を個人通知する。③広報誌に掲載しPR(5月・12月号)④受診後、医療機関への支払い事務⑤検診データの整理及び入力
【主な予算費目】	委託料、需用費(印刷製本費)、役務費(通信運搬費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市内歯科医師より、受診率向上のために周知方法・検診方法を見直しをする必要があるとされている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
市内歯科医院との契約、必要書類を渡す。対象者への個人通知のほか、広報誌に掲載しPR。受診後の医療機関への支払い事務。検診データの整理及び入力。 平成24年度実績:受診者数343人	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度から負担の公平性と近隣市町の状況を踏まえ、自己負担額600円徴収する。</li> <li>検診期間を3月末日まで延長する。</li> <li>平成25年度も歯周疾患についての記事を広報に掲載し、検診PRをする予定。</li> </ul>
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:受診者数	人 24年度事業仕分けにより、無料から一部自己負担となったため委託料の減。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市民35歳・40歳・50歳・60歳・65歳の数	(単位) ア:合志市民35歳・40歳・50歳・60歳・65歳の数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
むし歯・歯周疾患の早期発見ができる。	(単位) ア:受診率 %
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
自覚症状のない時期に、検診を受診することで、むし歯・歯周疾患が早期に発見できる。受診率が向上することが早期発見につながるため、成果指標とする。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込	
①	活動指標	人	280	297	285	343	300	310	310	310	
②	対象指標	人	3,854	3,517	3,700	3,799	3,800	3,850	3,850	3,850	
③	成果指標	%	7.27	8.4	8.4	9.2	9	9	9	9	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円				430	430			
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源		千円	1,204	1,263	1,277	1,342	661	1,277	1,277	1,277
	(A)事業費計		千円	1,204	1,263	1,277	1,342	1,091	1,707	1,277	1,277
	(A)のうち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数		人	6	8	6	5	6	6	6	0
延べ業務時間		時間	102	459	420	510	420	420	420	0	
(B)人件費計		千円	420	1,853	1,695	2,076	1,695	1,695	1,695	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,624	3,116	2,972	3,418	2,786	3,402	2,972	1,277	

事務事業名	歯周疾患検診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 検診受診率は目標値を達成できた。広報誌への掲載など周知方法を見直した結果、対象者の意識を高めることができたと考えられる。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 年々受診率が伸びているが、平成25年度から自己負担を徴収するため受診者の負担が増えるが、検診の必要性のさらなる周知を行い、受診率の維持・向上に努める。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 さらなる受診率の向上を図っていく必要がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がないため。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門的知識と技術を要するため、委託して実施している。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 契約方法、支払い事務等最低限の職員で実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 平成25年度から負担の公平性及び近隣市町村の状況を踏まえ、自己負担600円を徴収するため、公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 検診実施には、専門的技術・知識を必要とするため、委託医療機関にて実施している。よって、役割分担は適正である。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

受診者は自身で医療機関に予約をするため、都合の良い日に受診できることも受診者数が伸びている理由のひとつであると考える。対象者に検診の必要性を理解してもらうため、さらに周知方法の検討・工夫が必要である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					